山形ガスと石油資源開発、山形・東根に新エネルギー拠点

#東北 #山形 #東京

2023/3/27 19:14

石油資源開発と山形ガス（山形市）が出資するキルシュ・エネルギーサービス（東京・千代田）は27日、ベーリンガーインゲルハイム製薬（山形県東根市）の敷地内に建設したエネルギーセンターの竣工式を開いた。従来の重油に代えて燃料に液化天然ガス（LNG）を使い、二酸化炭素（CO2）排出量を年間最大約21%削減できるようになる。4月に営業運転を開始する。

竣工式で挨拶するベーリンガーインゲルハイム製薬のシャシャンク・デシュパンデ会長（山形県東根市）

約4800平方メートルの敷地にLNGタンクやコージェネレーション（熱電併給）システム、高効率ボイラー設備などを設置した。能力は、発電出力が2100キロワット、蒸気出力は毎時10トン、冷水出力は900冷凍トン（1冷凍トンは1トンの水を24時間で氷にする除熱能力）。キルシュがプロバイダーとなり、燃料調達から設備の運用・管理、ベーリンガーへのエネルギー供給までを担う。

ベーリンガーは製薬ラインを動かす電力のほか、薬の保管や製造室の温度管理に蒸気や冷熱を使っている。今後は料金を支払うだけでエネルギーを調達できる。竣工式に臨んだシャシャンク・デシュパンデ会長は「エネルギーをアウトソースして安定的に供給を受けることは事業継続計画（BCP）にも役立つ」などと述べた。